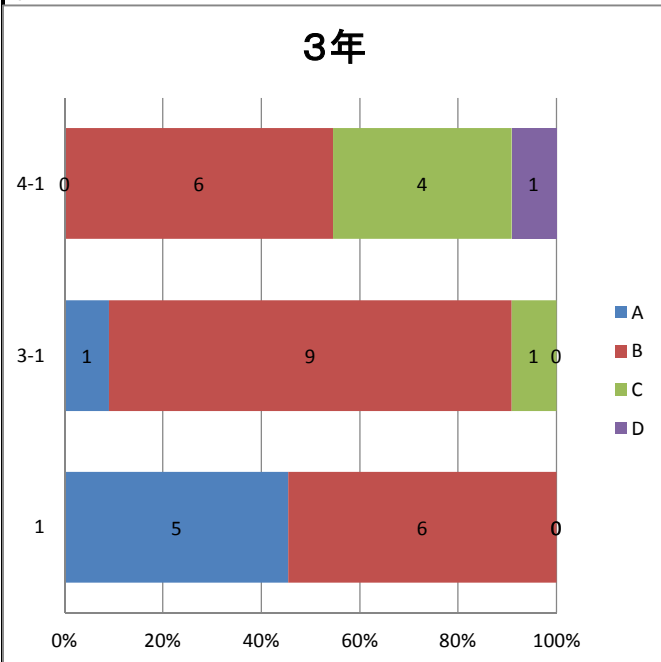


- 1, あなたは、算数の授業は楽しいと思いますか。 とても まあまあ あまり 全く楽しくない
 右のメモリで当てはまるものに○をつけてください。 └───┬───┬───┬───┘
- 2-1, 1で「とても」「まあまあ」と答えた人は、どんな時そう思いますか。
 (いくつ選んでもよいです。)
- 2-2, 1で「あまり」「^{まった}全く楽しくない」と答えた人はどんな時、そう思いますか。
 (いくつ選んでもよいです。)
- 3-1, あなたは、新しい問題をとくとき、図や数直線をかいて いつも 時々 ほとんどしない 全くしない
 考えようとしていますか。右のメモリで当てはまるものに○ └───┬───┬───┬───┘
 をつけてください。
- 3-2 「ほとんどしない」「^{まった}全くしない」と答えた人は、自分の考えに合うものを下から選んで○を付けてください。
- 4-1, あなたは、自分の考えを説明する時に、図や数直線を使 いつも 時々 ほとんどしない 全くしない
 おうとしていますか。右のメモリで当てはまるものに○ └───┬───┬───┬───┘
 をつけてください。
- 4-2 「ほとんどしない」「^{まった}全くしない」と答えた人は、自分の考えに合うものを下から選んで○を付けてください。
- 5, どうすれば算数をもっと楽しくなると思いますか。
 思いついたことをいくつでも書いてください。思いつかない場合は空 くうらん
 欄でよいです。

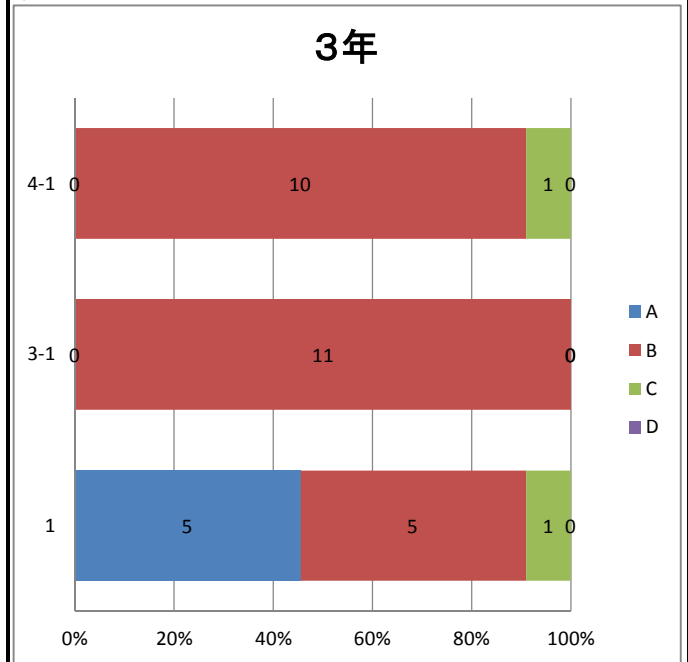
第1回



分析・傾向

「友だちや先生から自分の考えを褒めてもらったとき」に、「算数は楽しい」と感じる児童が最も多い。このことから、児童は自分の考えを先生や友だちに説明し、認めてもらいたいという欲求の高さを感じられる。それゆえ、問題を解くときに図をかこうと考えている児童は多い。しかし、図をかく経験が少なかったためか、どのようにかいたらよいのか、どのように使ったらよいのか分らず苦手意識をもっているようである。そこで、図を使って児童同士で説明しあう機会を多くもつ(ペア・全体)。また、図を使うことで説明がしやすくなると思われる活動を多く取り入れる。

第2回



分析・傾向

・「算数があまり楽しくない」と答えた児童が1名、出てしまった。その児童は、設問5で、「自分にできる計算があると楽しくなる」と答えていることから、計算問題がだんだん難しくなってきたことに不安を感じているようだ。
 ・図や数直線を使って問題を解こうと考えている児童が100%になった。前回、「図や数直線を使わなくても解けるから」と考えていた児童が、それらを使わないと解けない問題があることに気付いた結果である。また、「いつも使って考えている」児童が1名減ったが、個別に質問したところ、「必要な場面では必ず使っている」と答えた。
 ・図や数直線を使って自分の考えを説明することに消極的な児童は、前回が5名だったのに対し、1名に減った。この1名は「図をかくことが苦手だから」と答えているが、図を描くことの必要性は感じており、教科書等に描かれた図は利用しているので、「描けないからほとんど利用しない」という考えであろう。